

新春交流セミナー開かれる

2009年1月10日に大阪ガーデンパレスホテルにて、新春交流セミナーが催されました。開催にあたり、鈴木会長から我が国の児童福祉に対する取り組みの課題が強く指摘されました。

そして、基調講演は大阪市立大学の山縣文治教授の「現代社会と子供を取り巻くソーシャルワーク実践」でした。ソーシャルワークが現代社会の児童福祉において強く求められていることが指摘されました。

それに続いてシンポジウムが「子供を支援する現場実践から」というテーマで行われました。シンポジストは次の方々です。

桐野由美子氏（京都ノートルダム女子大学教授）「児童虐待防止の現状と課題」

近藤伸爾氏（大阪市発達障害者支援センター 元所長）「発達障害者支援の現状と課題」

小掠昭氏（石井記念愛染園 若草保育園園長）「保育所におけるソーシャルワークの現状と課題」

金澤ますみ氏（桃山学院大学非常勤講師）「スクールソーシャルワークの現状と課題」

多角的に、実践を深く掘り下げたすばらしいシンポジストたちの発表がされました。児童に対する問題の重要性を反映してでしょうか、約80の方が参加しました。そして質疑においてもきわめて、深いディスカッションがなされました。

関西のパワフルさを感じさせられる、充実したセミナーとなりました。

